科目名	コンサート プロダクト	-1 [	基礎実	習]			年度	2024
英語科目名	Concert Product-1 [Basic Training]						学期	前期
学科・学年	コンサート・イベント 科照明コース 1年次 必/選	必	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	小山慶・島立麦人・森岡重樹・小峰建・吉野雄一郎・嶋田円歌	教員の実務経験		有	実務経験の職種		音楽・イベント 系企業	

### 【科目の目的】

入学から3 か月間は「基礎実習期間」と定め、5 コース( コンサート 制作、イベント 企画、コンサート PA、コンサート 照明、コンサート 舞台) すべての基礎知識を学ぶ期間とする。コース選択は夏ごろを予定しており、それまでの間に各コースの内容 +  $\alpha$ として特別講義を設け、それぞれ3 回ずつの実習の機会を設ける。

### 【科目の概要】

基礎実習ローテーション中はすべてのコースで安全管理に努め、知識や技術以前に安全に対する意識の向上を図っていく。その他、セクションを問わず挨拶やコミュニケーションができること、時間を守ることができることについても厳しく指導し、音楽業界・イベント業界で働くための素質を培っていく。3か月の基礎実習期間を終了するときにはすべての学生が進路の方向性を定めて、納得できるコース選択ができるようにする。また2年生の就職活動の際に就職先の視野を広げることも大事な到達目標

## 【到達目標】

A [制作]: コンサート が企画されてから本番当日を迎えるまでの流れについて B [企画]: 新商品発表イベントを想定して台本を作成、イベントのシミュレーションまで C [舞台]: 舞台監督、大道具を基軸に、様々な舞台の構成要素となるものの学習と実践

・ D [照明]: 機材セッティングを実際に行い、吊り物に関する安全管理と照明の仕事について学ぶ ・ E [PA]: 機材セッティングを実際に行い、安全管理と音の信号の流れと操作を学ぶ

#### 【授業の注意点】

失敗する事が問題ではなく、分からない事をそのままにしておく事が問題の為、自ら積極的に授業に参加しコミュニケーションも重視する。厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。(遅刻・欠席の場合、授業開始15分前までに必ず教員室に連 絡を入れる事。)ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は評価しない。

57 FF 11 14								
評価基準=ルーブリック								
ルーブリック	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1			
評価	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力			
到達目標 A	制作コースを選択する・しない関係なしにコンサート制作という仕事を理解し、他セクションと協働できる。	制作の仕事に対して意欲的でコースはほぼ決定だが、他の仕事に対する理解が低い。	自分が進むべきコースが分かっていて、コース選択に 対して不安がない。	興味のあるコースの授業に しか積極的になれず、基本 的に授業中は積極的に参加 しない。	全てのコースに対して興味 がなく、技術や知識の習得 をしようとしない。			
到達目標 B	企画コースを選択する・しない関係なしにイベント 企画という仕事を理解し、他セクションと協働できる。	企画の仕事に対して意欲的でコースはほぼ決定だが、 他の仕事に対する理解が低い。	自分が進むべきコースが分かっていて、コース選択に 対して不安がない。	興味のあるコースの授業に しか積極的になれず、基本 的に授業中は積極的に参加 しない。	全てのコースに対して興味 がなく、技術や知識の習得 をしようとしない。			
到達目標 C	舞台コースを選択する・しない関係なしにコンサート舞台という仕事を理解し、他セクションと協働できる。	舞台の仕事に対し て意欲的 でコースはほぼ決定だが、 他の仕事に対する理解が低 い。	自分が進むべきコースが分かっていて、コース選択に対して不安がない。	興味のあるコースの授業に しか積極的になれず、基本 的に授業中は積極的に参加 しない。	全てのコースに対して興味 がなく、技術や知識の習得 をしようとしない。			
到達目標 D	照明コースを選択する・しない関係なしにコンサート 照明という仕事を理解し、 他セクションと協働でき る。	照明の仕事に対して意欲的 でコースはほぼ決定だが、 他の仕事に対する理解が低 い。	自分が進むべきコースが分かっていて、コース選択に対して不安がない。	興味のあるコースの授業に しか積極的になれず、基本 的に授業中は積極的に参加 しない。	全てのコースに対して興味 がなく、技術や知識の習得 をしようとしない。			
到達目標 E	PAコースを選択する・しない関係なしにコンサート PAという仕事を理解し、 他セクションと協働でき る。	PAの仕事に対して意欲的 でコースはほぼ決定だが、 他の仕事に対する理解が低 い。	自分が進むべきコースが分かっていて、コース選択に 対して不安がない。	興味のあるコースの授業に しか積極的になれず、基本 的に授業中は積極的に参加 しない。	全てのコースに対して興味 がなく、技術や知識の習得 をしようとしない。			

# 【教科書】

舞台・テレビジョン照明<基礎編>(日本照明家協会出版)、現場で役立つ舞台関係用語集ステージ・PA・照明用語事典(リッ トーミュージック)

## 【参考資料】

# 【 成績の評価方法・評価基準】

- \*試験は授業内容の理解度を確認するために実施する。
- \*宿題や見学のレポートなどを真剣に取り組んでいるか、提出状況によって評価する。
- \* 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		コンサートプロダクト 1 [基礎実習]				年度	20	024
英語表記		Concert Product-1 [Basic Training]				学期	前	期
回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標=修得するスキル		評価方法	日評
		基礎実習	1 制作とは コン・		コンサート の作られ方	コンサート の作られ方		
1	コンサート 制作		2	2 運営とは 当日のコンサート 運営の行い方について			2	
			3	宣伝とは	プロモーションにおいて大切なこと			
	4.35.1	基礎実習	1 企画とは どのように企画が生まれるのか 2 運営とは 当日のイベント 運営の行い方について					
2	イベント 企画					2		
			3	楽屋とは	楽屋のセッティングについて			
	_ > 44 1	基礎実習	1 舞台監督 舞台監督という仕事について					
3	コンサート 舞台		2	舞台美術	箱馬と平台で山台を作る、ロープワーク		2	
			3	舞台の仕込み	図面通りにバミリと山台と吊りものを仕込む			
	コンサート PA	基礎実習	1	PAとは	コンサート 音響の仕事について理解する			
4			2	機材について	使用機材のセッティングについて			
			3	フェーダーワーク	機材の操作について			
	コンサート 照明	基礎実習	1	照明とは	使用する機材・色について			
5			一般実習 2 機材について 学校で用いる照明機材各種について			2		
			3	演出について	ピンスポット 等と合わせ演出を行う			
	·6/ DD	<b>,</b> 基礎実習	1 楽器の仕事と		現場の実例を元に仕事内容を紹介			
6	楽器 テクニシャン		正 <b>礎実習</b> 2 ドラムの組み方 ドラムセットの仕組みを理解しセットする				2	
			3	アンプを理解する	アンプの種類・特性を理解する	† <b>る</b>		
	施設見学	KT Zepp Yokohama	1 施設概要 施設概要を理解する					
7			2	実地見学	現地を見学する		2	
			3	レポート 提出	見学レポート を作成して提出			
	施設見学	Zepp Haneda	1 施設概要 施設概要を理解する					
8			pp Haneda 2 実地見学 現地を見学する				2	
			3	レポート 提出	見学レポートを作成して提出			
		横浜アリーナ	1	施設概要	施設概要を理解する			
9	施設見学		2	実地見学	現地を見学する			
			3	レポート 提出	見学レポートを作成して提出			
	特別講義	電飾・特殊効果	1	電飾とは	電飾の仕事を理解する			
10			2	機材について	電飾で用いられる機材と操作について			
			3	オペレーション	実際に機材に触れて操作を行ってみる			
		<b>映像</b>	1	映像とは	映像の様々な種類の仕事や業務を理解する			
11	特別講義		2	コンテンツ制作	クライアント の演出意図に沿った制作とは?			
			3	施工と本番	進化する映像の使われ方に沿った施工や本番			
	特別講義	ブライダル プランナー	1 婚礼とは 結婚式・披露宴とは			2		
12								
			3	各会場について	様々な用途に対応する会場について	 会場について		
	特別講義	ホテル オペレーション	1   1   1   1   1   1   1   1   1   1					
13						2		
			3	営業周りについて	仕事の受注から本番までの流れについて			
		/ × × · · ·	1 イベント 会社とは イベント 会社はどんな会社、について					
14	特別講義	イベント プロデューサー	2	実際の仕事の流れ	受注から打ち合わせ、プランニングについて		2	
			3	フリーランス	フリーで仕事をするということについて			
			1	企業について	業界を取り巻く企業について			
15	特別講義	業界相関図	2	それらの仕事	どの企業がどの職務を担っているのか		2	
			3	関係性を理解する	企業間の関係性を理解する			

評価方法: 1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価: S: とてもよくできた、A: よくできた、B: できた、C: 少しできなかった、D: まったくできなかった

備考 等